

令和2年 1月 22日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 ケアセンター八潮
 氏名 富上雅樹

研修会報告書

研修会名	第2回多職種によるチームアプローチ研修会				
日時	令和2年 1月 15日(水) 13:30~16:30				
会場	県民活動総合センター 210セミナー室				
講師	かわぐちナーシングホーム 介護支援専門員 栢森 広氏 作業療法士 富山 絵美子氏				
参加人数・定員	参加者29名 定員60名				
研修委員 (氏名・施設名)	渡辺清光(大宮ナーシングピア) 紫葉美和子(ぼっかぼか) 富上雅樹(ケアセンター八潮) 安田恭輔(かわぐちナーシングホーム)	江村泰亮(かわぐちナーシングホーム) 長谷川大和(あねとす) 塩島寒太(ケアセンター八潮) 遠山富雄(本庄ナーシングホーム)			
研修会のテーマ	オレンジカフェの始め方 ゼロベースからのスタート				
研修会の評価	アンケート回収枚数	27 枚	3. グループワーク	4.3 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	3.7 / 5	4. 研修会の進め方	4 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	16 / 20
		②	/ 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	<p>・事前に講師の方との打ち合わせでグループワークをどのような形で進めていくかの話し合いができておらず、当日開催時間寸前で席の様様替えをしたため講義を聞く際に窮屈になってしまった。今後は当日どのようにグループワークまたは講義を進めていくかを事前の打ち合わせで聴取しておく必要があると感じた。</p> <p>・グループワークの際にお菓子、飲み物の配布があったが、委員が協力し合い提供することができていた。</p> <p>・講義の中で『3B体操』という幼児から高齢者まで参加できる体操を実際に体験する時間があったが、参加者、委員ともに積極的に参加されており、とても楽しそうに感じた。また体操の内容も難しいものではなく、各々が自施設に持ち帰り提供することも可能ではないかと感じた。</p> <p>・今回、主にオレンジカフェの開催に関する講義をしていただいた。開催当初の人員不足、内容の試行錯誤、予算等を明確に講義していただいたことでこれから始める際に必要なこと、また現在開催しているオレンジカフェの過不足等が認識できたのではないかと思う。人員不足を解消するため、地域のボランティアや家族を巻き込んだ形でカフェを開いているということで新しい視点であると感じた。これから高齢者が増えていく社会状況に対し、施設内でなくボランティアや地域の学校、施設と協力していく取り組みは今後必要になってくるのではないかと感じた。</p>				

*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。